

## 東京港埠頭株式会社

- ・参加も実施も簡単で、取締役会など重要な会議シーンで有効活用！
- ・画面共有で相手の画面を見て解決する、社内ヘルプデスクとしての使い方も！



### 導入前の課題

- ・在宅勤務でコミュニケーションが取りにくい
- ・外部との対面会議が多い
- ・社内サポート業務が非効率



### 導入後の効果

- ・Web会議を迅速に導入し、社内・社外コミュニケーションを実施
- ・インストール不要で簡単に社外の人を招待
- ・画面共有機能を使ったシステム操作支援

### 在宅勤務時の頻繁な、社内・社外コミュニケーション対応に活用

当社は首都東京の海の玄関である、東京港を拠点とする企業です。外貿埠頭事業を基幹事業として、外貿コンテナ埠頭の一元管理やコンテナ船の大型化への対応などに取り組み、東京都における外貿コンテナ貨物の取扱個数は1998年以降連続で日本一を誇っております。

埠頭の整備、貸付及び管理・運営だけでなく、公共施設及びこれらの附帯する施設等の管理・運営、都内から発生する公共系の建設発生土の受入、自然環境保全のための浅場維持管理及び海上浮遊ゴミの回収に至るまで、港湾機能と都市機能が有機的に結合した魅力ある「都市型総合港湾・東京港」を維持・発展させていくために努めています。

緊急事態宣言後、突然テレワークを実施することになりましたが、コミュニケーションが取りにくいことが問題に上がりました。他社ツールと比較検討した上、セキュリティ面で安心でき、会議に参加するのにアカウント作成やソフトウェアのインストールが不要な「RemoteMeeting」を採用しました。外部とのミーティングが多かったため、ゲスト参加に手間がかからないのはとても良かったです。実際に使用してみても使い勝手がよく、現在は75ライセンスを導入しております。「RemoteMeeting」を活用してWeb会議を行っております。



### シンプルでITリテラシーに関係なく、誰でもすぐ利用できる

「RemoteMeeting」を導入する前は原則対面での会議を行っていましたが、現在はとても有効的にWeb会議を活用しています。取締役会といった大事な場面でも使用していて、例えば社外の参加者が出席できなくなった時は、事前に設定されたiPadを送って参加してもらうようにしました。会議室には「Remote MeetingBOX」を設置して、簡単にテレビ会議に参加できるようにしました。操作が簡単で、仮想会議室の番号だけ事前にお知らせすれば参加できるので、多拠点間でのWeb会議も無事問題なく開催できました。

特に、今は新型コロナウイルスの影響もありますので、密にならないように、なるべく拠点間のコミュニケーションや諸社内会議なども「RemoteMeeting」で開催しています。

### Web会議用だけではなく、ヘルプデスク用としても有効活用！

また、当社は客船ターミナルや公園なども含めると14もの拠点を持っており、システムに関する問い合わせ対応が負担になっていました。RemoteMeeting導入前は、遠隔によるシステム操作と電話による一方的な説明しかできないため、何度も同じ問い合わせが来ていました。しかし、「RemoteMeeting」の画面共有機能を活用することで、問い合わせのトラブル内容に対して、一緒に画面を見ながら確認して、直接解決してもらうことができるようになりました。すると、次からは自分自身でトラブルを解決できるようになり、サポートの時間が軽減しました。



### 会社概要

**会社名**  
東京港埠頭株式会社

**本社**  
〒135-0064  
東京都江東区青海2-4-24  
青海フロンティアビル10階

**代表者**  
代表取締役社長 服部 浩

**従業員数**  
174名(2020年8月現在)

**資本金**  
16,855百万円

**URL**  
<https://www.tptc.co.jp>

**事業内容**

- ・外貿埠頭事業
- ・内貿埠頭事業
- ・指定管理者関連事業
- ・建設発生土有効利用事業
- ・環境保全事業